

貝類 川瀬講師

	質問	年代	回答
1	自然度を評価する際に参考になる貝類は何ですか？（これがいたら自然が十分残っているという種など）	大学生	自然が十分残っているという指標種は、例えば、ヤマタニシ、アツブタガイ、ミジンヤマタニシ、ヒダリマキゴマガイ、キュウシュウゴマガイ、ヒラドマルナタネガイ、タワラガイ、ミジンナタネガイ、カサキビ、ヒメカサキビ、オオウエキビ、ヒゼンキビ、コシタカシタラ、タカキビ、レンズガイ、ビロウドマイマイ、コオオベソマイマイ、オオケマイマイ、ヒルゲンドルフマイマイ、ヤマナメクジ、イボイボナメクジなどです。「岐阜市に生息する陸産貝類」という論文をウェブサイトで検索してみてくださいと、第2表において◎のついているものが自然度の高い指標種として有効です。
2	DNAで違いを見つけることができないマシジミとタイワンシジミを識別するにはどうしたらよいですか？	50代	そもそもタイワンシジミとマシジミが別種なのか同種（synonymシノニム：同物異名）なのかがはっきりしません。シノニムであれば識別できなくて当然ということになります。
3	同じ種でも外見が違う場合、どのようにして判別すればよいでしょうか？	高校生	貝類の場合は、まず殻の形質（形態や色・模様）で同定（判別）します。それで概ね同定できますが、似て非なる種である場合は、軟体部の形質で判断します。それでも判別できないときは、軟体部を解剖して、軟体部の細部の構造の比較を行います。特に生殖器官の比較が判別に有効です。ここまでで判別できないことは稀ですが、それでも判別できないときは、遺伝子分析をします。場合によっては生態的な差異や生理的な差異が判別の決め手になることもあります。
4	貝がいなくなっていなくなった魚や、魚がいなくなっていなくなった貝があれば、具体的に教えてほしいです。	60代	「日本のタナゴ生態・保全・文化と図鑑」という本が参考になります。イシガイ科二枚貝はタナゴ亜科魚類の産卵基質となるため、イシガイ科二枚貝が絶滅するとタナゴ類は繁殖できず絶滅します。具体的な種類の対応については前述の本に詳しく書かれております。また、イシガイ科二枚貝のグロキディウム幼生は、ヨシノボリ類など限られた魚類の鰓 <small>ひれ</small> や鰓 <small>えら</small> などで一定サイズまで成長するため、これらの魚類がいなくなるとイシガイ科二枚貝も絶滅します。